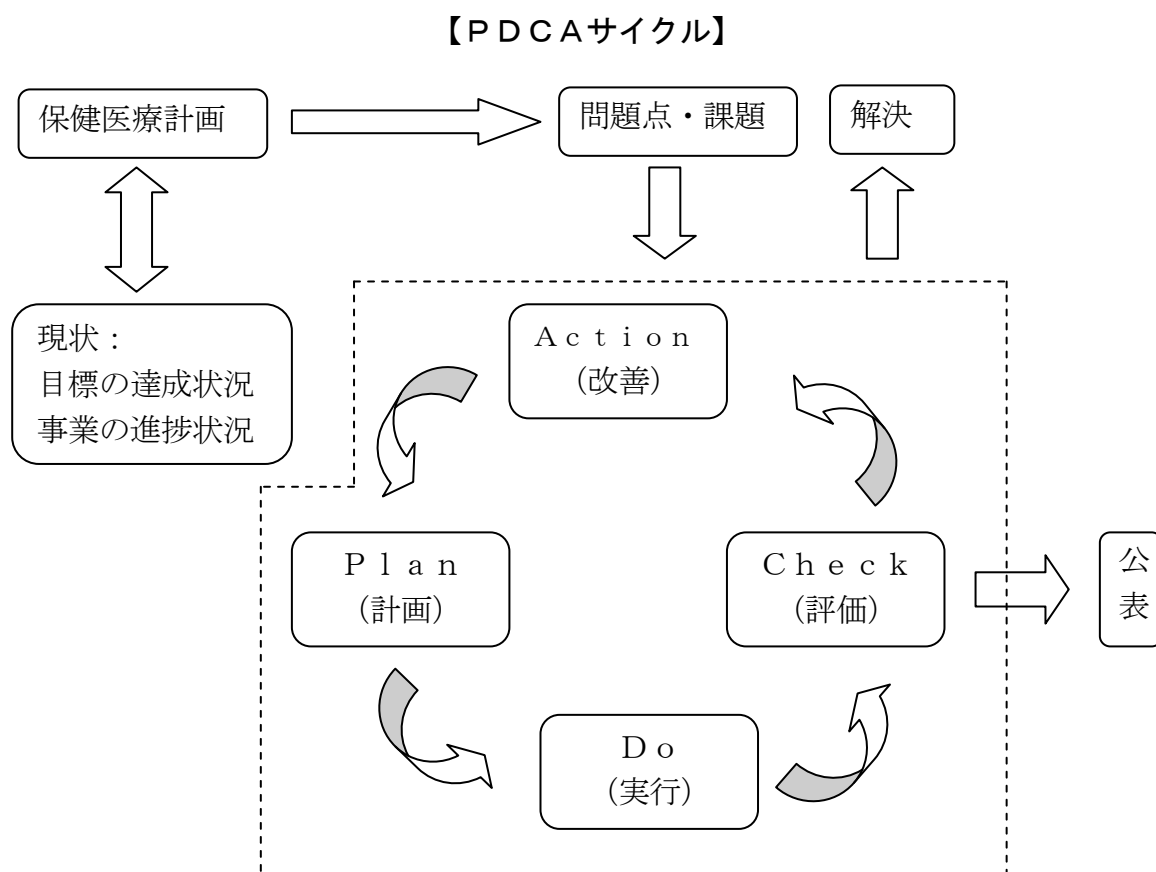


第2章 計画の進行管理

第1節 進捗状況の評価

- 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）及びへき地医療を除く4事業（救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療）並びに在宅医療について、数値目標を設定しました。
- 計画の進行管理にあたっては、PDCAサイクルを活用して、計画の評価と見直しを行っていきます。
- PDCAサイクルとは、Plan/Do/Check/Actionの頭文字を揃えたもので、計画（Plan）→実行（Do）→検証（Check）→改善（Action）の流れを次の計画に活かしていくプロセスのことをいいます。
- 保健医療計画の進捗状況については、設定した数値目標の達成度等について、県が定期的に把握します。
- 計画の評価にあたっては、神奈川県保健医療計画推進会議、あるいは個別分野に関して設置されている協議会等の意見を聴きながら評価を行い、必要に応じて見直しを行うなどにより、計画を推進していきます。



第2節 評価結果の公表

- 評価結果については、県ホームページにより公表します。

【神奈川県保健医療計画 目標値一覧】

1 総合的な救急医療

目標項目	現状	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
重症以上傷病者の搬送において、現場滞在時間が30分以上の件数	2,074件 (平成22年度)	1,500件	○人口10万人当たりの全国平均に引き下げる。
救命救急センターを設置している二次保健医療圏の数	10医療圏 (平成24年度)	11医療圏	○全二次保健医療圏に設置。

2 精神科救急医療

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
夕方から夜間の受入医療機関数	8病院	9病院	○1病院増。
精神科救急・身体合併症対応施設数	0病院	6病院	○2二次保健医療圏当たり1か所設置。

3 小児医療

目標項目	現状	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
PICUの病床数(※1)	0床 (平成24年度)	8床	○1施設を整備。
小児医療に係る病院勤務医数(※2)	538.0人 (平成20年)	650.0人	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。

※1 診療報酬上の小児特定集中治療室管理料の施設基準の届出を行っている病床数

※2 非常勤医師を常勤換算した人数

4 周産期医療

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
NICUの病床数	195床	222床	○国の整備指針に基づき、出生1万人対28床で設定。
産科医・産婦人科医の数	699人	750人	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。

5 災害時医療

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
複数のDMATを保有する災害拠点病院の数	3病院	7病院	○地域バランス及び病院の機能を考慮して4病院増。
災害協力病院の数	0病院	3病院	○災害拠点病院及び災害協力病院を各二次保健医療圏で概ね30万人に1病院という基準を満たしていない3つの医療圏で指定。

6 在宅医療

目標項目	現状	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
在宅療養支援診療所数	740施設 (平成24年)	910施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
在宅療養支援歯科診療所数	171施設 (平成24年)	280施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
訪問看護事業所数	404施設 (平成22年度)	530施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
訪問薬剤指導を実施する薬局数	2,441施設 (平成21年)	2,900施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
在宅看取りを実施している診療所数	188施設 (平成20年)	210施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。

7 がん

目標項目	現状	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
がんによる死亡者の減少（75歳未満年齢調整死亡率 ^{※6} の減少）	84.5人 (平成23年)	69.0人	○がん対策推進計画より。 ○国と同様に、75歳未満の人口10万人当たりのがんの死亡者数を10年間（H29年度まで）で20%減する。
緩和ケア病棟を有する病院が整備されている二次保健医療圏の数	9医療圏 (平成24年度)	11医療圏	○全二次保健医療圏に設置。
がん検診受診率の向上	胃がん31.7% 大腸がん24.1% 肺がん23.3% 乳がん38.9% 子宮がん37.9% (平成22年)	胃がん40%以上 大腸がん40%以上 肺がん40%以上 乳がん50%以上 子宮がん50%以上	○がん対策推進計画より。 ○国の目標（がん検診受診率を5年以内に50%（胃、肺、大腸は当面40%））に準じて設定。

8 脳卒中

目標項目		現状 (平成22年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法実施件数		286件 (※1)	350件 (※2)	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
地域連携クリティカルパスに基づく診療計画作成等の実施件数		870件 (※1)	1,380件 (※2)	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
特定健康診査の実施率		40.3%	70%以上	○医療費適正化計画より。 ○国の目標値に合わせて設定。
脳血管疾患 年齢調整死亡率（人口10万対）	男性	45.6	38.0 (平成34年度)	○かながわ健康プラン21（第2次）より。 ○本計画で設定した生活習慣の目標を達成できた場合、危険因子がどのくらい低減するのかを算定。それを基に、循環器疾患の死亡への影響を算出した。
	女性	26.0	23.8 (平成34年度)	

※1 平成22年10月から平成23年3月までの6か月間の件数

※2 平成29年度中の6か月間の件数

9 急性心筋梗塞

目標項目		現状	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数		2,403件（※1） (平成22年度)	2,550件 (※2)	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数		37施設 (平成23年度)	45施設	○人口10万人当たりの全国平均に引き上げる。
特定健康診査の実施率（再掲）		40.3% (平成22年度)	70%以上	（再掲）
虚血性心疾患 年齢調整死亡率（人口10万対）	男性	33.9 (平成22年度)	27.9 (平成34年度)	○かながわ健康プラン21（第2次）より。 ○本計画で設定した生活習慣の目標を達成できた場合、危険因子がどのくらい低減するのかを算定。それを基に、循環器疾患の死亡への影響を算出した。
	女性	12.7 (平成22年度)	11.6 (平成34年度)	

※1 平成22年10月から平成23年3月までの6か月間の件数

※2 平成29年度中の6か月間の件数

10 糖尿病

目標項目	現状	目標値	目標値の考え方
40歳以上の糖尿病治療継続者	58.3% (平成21～23年度)	65.0% (平成34年度)	○かながわ健康プラン21(第2次)より ○県の現状値から今後の治療継続者を算出し、国の計画と同じ増加割合で目標値を算出した。
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	959人 (平成22年度)	925人 (平成34年度)	○かながわ健康プラン21(第2次)より ○生活習慣を改善することにより、期待される県の血圧の低下を算出し、国と同じ透析導入者の低下率を用いて、目標値を算出した。
特定健康診査の実施率(再掲)	40.3% (平成22年度)	70%以上 (平成29年度)	(再掲)

11 精神疾患

(1) 予防

目標項目	現状 (平成23年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
かかりつけ医等うつ病対応力向上研修受講者数	1,122名 (累計)	3,000名 (累計)	○年間300名増を目安に設定。

(2) 治療・回復・社会復帰(地域生活)

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
1年未満入院者の平均退院率	72.9%	77.9%	○年1%上昇を目安に設定。
認知症疾患医療センターの設置数	6か所	11か所	○全二次保健医療圏に設置。

(3) 精神科救急(再掲)

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
夕方から夜間の受入医療機関数	8病院	9病院	(再掲)

(4) 身体合併症(再掲)

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
精神科救急・身体合併症対応施設数	0病院	6病院	(再掲)

(5) 専門医療

目標項目	現状 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	目標値の考え方
児童精神科拠点病院と連携する有床精神科医療機関数	10病院	12病院	○関係医療機関との協議に基づき2病院増。